

「錦江中学校の錦江探訪の取組」

1. 学校名	錦江町立錦江中学校
2. 学年・人数	1年生 36人
3. 日時・場所	(1) 学習会等の日時・場所 令和6年5月9日(木) 事前オリエンテーション 錦江中学校 令和6年5月21日(火) 『錦江探訪』 錦江町内 探訪終了後、感想記入
4. 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について	(1) 名称・時代 ア 城元田ノ神像(しろもとたのかみぞう) : 江戸時代後期 イ 大根占電信局跡(おおねじめでんしんきょくあと) : 明治時代 ウ 山ノ口祭祀遺跡(やまのくちさいしいせき) : 弥生時代中期 (2) 特徴等 ア 錦江町指定文化財(有形文化) 江戸時代後期作 明治2年の廃仏毀釈の際、顔や持ち物等が傷つけられている。 昭和50年に現在位置に遷座。 イ 錦江町指定文化財(史跡) 日露戦争時、電信の全てが大根占電信局の発信・受信だった。 ウ 鹿児島県指定文化財(考古資料) 山ノ口式土器は弥生時代中期の標識土器 環状配置遺跡は、農耕祭祀説、墓地説がある。
5. 活用の取組において地域との連携や工夫した点等	探訪当日は錦江町文化財保護審議委員を招き、説明を行っていただいた。 移動バス及び講師料については錦江町が負担している。
6. 取組の様子(研究発表等)	  文化財探訪 遺跡の説明
7. 感想・意見 (参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	【生徒】 ・中学校周辺の身近なところに、歴史的にすごい遺跡や建物があつたことに驚いた。錦江町内にはまだ多くの文化財があるのも知ったので、調べていきたい。